

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 防災危機管理課

シート No. : 59

作成日： 2025. 5/9

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅳ 生活環境の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 安全な暮らしを確保する	鬼怒川の水害から年月が経過し、住民や職員、災害を経験したことのない子どもたちの防災に関する記憶、教訓を繋いでいくことは重要です。そのため、市内小中学校での防災教育の実施や職員、市民を対象とした訓練、研修等を実施し、災害に対する知識を身に付ける取組を行うことで、防災に関する知識と意識の向上を目指します。	・災害に対する意識向上のため、防災講演会やシンポジウム等を実施し、防災の知識を深め災害に備えます。 ・自主防災組織結成や防災士資格取得者を増加させ、地域での防災力向上を図ります。 ・災害経験のない子どもたちが防災について考えるきっかけを作ります。
	施策	1 防災		
	施策内容	災害に強いまちづくりの推進		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	災害対策基本法		
事務事業名		防災対策事業		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
防災シンポジウム （R6. 7. 8）	平成 27 年関東・東北豪雨災害以降、毎年行っている防災に関するシンポジウムを開催し、市民への防災意識向上を図ります。	シンポジウム参加者 （人）	100	150	50 千円	50 千円
			100	150		
防災スポーツ （R6. 7. 8）	災害経験のない小学生を対象に、子どもたちが取り組みやすいスポーツを通して、防災について学ぶ、「防災スポーツ」を開催します。	防災スポーツ実施校 （校）	11	7	3, 604 千円	6, 050 千円
			11	7		
災害対応工程管理システム運用 （R6. 7. 8）	災害時の対応を可視化し、災害対応に不慣れな職員への補助を行うためのシステムを運用し、職員向け研修会を開催します。	BOSS システム運用研修（回）	1	1	528 千円	528 千円
			1	1		
防災士育成事業 （R6. 7. 8）	地域で活動する防災リーダーの育成のため、防災士資格取得された方に取得費用の補助を行います。	補助金交付人数 （人）	6	6	122 千円	245 千円
			14	6		
自主防災組織活動補助事業 （R6. 7. 8）	自主防災組織の活動や資機材の購入に対し、補助を行い、組織の活動促進を図ります。	補助金交付組織数 （組織）	20	17	1, 381 千円	1, 193 千円
			29	17		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
常総市防災士連絡協議会会員増加数（人）	2 人 （R6）	3 人
防災士出前講座数（回）	10 回 （R6）	15 回
地域防災訓練数（回）	20 回 （R6）	28 回
自主防災組織結成率（％）	80％ （R9）	69. 1％

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
防災士資格を取得された方に、防災士連絡協議会の案内を行い、会員を増加することができました。また、協議会の協力のもと、小学校における防災スポーツなどの防災教育の実施、地域における防災講話等を実施することができ、地域の防災力向上に繋げることができました。 また、自主防災組織の結成にあたっては、市の補助金の案内や、市防災士会から助言を行うなど、地域の活動を支援しました。	☒ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	現状、防災スポーツを実施するには、企業の協力が必要となりコストや人員の負担があります。防災士を育成し、防災士が主体となった防災教育のメニューを増やすことで、行政と地域、学校との繋がりを強化するとともに、今後、防災スポーツだけでない防災教育の在り方を検討し、将来的なコストの抑制を目指します。			